

令和2年度 第2回宇都宮市生涯学習センター運営審議会

日 時：令和2年10月15日（木）

午後2時～3時（予定）

場 所：宇都宮市役所14階 14A会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

（1）協議事項

令和3年度生涯学習センター事業運営の考え方（案）について

【資料1】

（2）報告事項

①令和3年宇都宮市成人式について

【資料2】

②地域かがやきプロジェクト（CKP）について

【資料3】

3 そ の 他

4 閉 会

宇都宮市生涯学習センター運営審議会委員名簿

令和2年10月1日現在

(任期：令和2年6月1日～令和3年5月31日)

区分	No.	氏名	役職名等	備考
社会教育 の関係者 (センター 一代表者)	1	まちやま 待山 たえこ 妙子	絵画サークル「アトリズム」事務局 (中央生涯学習センター)	
	2	くまくら 熊倉 シゲ子	泉が丘地区連合自治会文化部長 (東生涯学習センター)	
	3	こまつ 小松 せいこう 整洸	富士見小学校・宮の原中学校魅力ある学校づくり地 域協議会委員 (西生涯学習センター)	
	4	いしじま 石嶋 ともこ 朋子	星が丘中学校PTA副会長 (北生涯学習センター)	
	5	よしざわ 吉澤 せつこ 節子	平石地区婦人防火クラブ顧問 (平石生涯学習センター)	
	6	すずた 鈴木 たかゆき 孝行	清原地区自治公民館連絡協議会事務局長 (清原生涯学習センター)	
	7	さかもと 坂本 やすお 保夫	瑞穂野地区まちづくり協議会会長 (瑞穂野生涯学習センター)	
	8	いけだ 池田 ふみお 文男	城山地区コミュニティ協議会顧問 (城山生涯学習センター)	
	9	ほんだ 半田 ちかこ 千佳子	国本中学校魅力ある学校づくり地域協議会コーデ イナー (国本生涯学習センター)	
	10	さいとう 斎藤 なおい 直偉	富屋地域内交通推進協議会会長 (富屋生涯学習センター)	
	11	あくつ 阿久津 せつこ 節子	篠井小学校魅力ある学校づくり地域協議会コーデ イナー (篠井生涯学習センター)	
	12	いしづか 石塚 まさる 勝	姿川地区まちづくり協議会副会長 (姿川生涯学習センター)	
	13	いなば 稲葉 ゆたか 豊	雀宮地区まちづくり推進協議会会長 (雀宮生涯学習センター)	
	14	たにうち 谷内 なおこ 直子	古里中学校魅力ある学校づくり地域協議会会長 (河内生涯学習センター)	
学校教育 の関係者	15	いとう 伊藤 ひろゆき 裕之	宇都宮市立海道小学校長 (小学校長会)	
	16	くりはら 栗原 たけはる 丈晴	宇都宮市立旭中学校長 (中学校長会)	
学識経験 を有する 者	17	にしだ 西田 なおき 直樹	作新学院大学女子短期大学部教授	副委員長
	18	まるやま 丸山 じゅんいち 純一	文星芸術大学美術学部教授	委員長
教育長が 適当と認 めた者	19	しおのや 塩野谷 ふじ子	公募	
	20	なかやま 中山 けいこ 敬子	公募	

1 社会情勢の変化と基本的な考え方

近年、少子超高齢化による人口減少と人口構造の変化やグローバル化の進展、ICTの劇的な進化、頻発する未曾有の災害への危機管理など、社会環境がめまぐるしく変化する中、人々の価値観やニーズも一層多様化し、求められる能力も変化していくことが見込まれる。また、新型コロナウイルス感染症対策として、「新しい生活様式」の実践が推奨され、地域においては、住民同士のつながりの希薄化など、家庭・地域の教育力や地域コミュニティの衰退がますます進行していくことが懸念される。

本市においては、「第6次宇都宮市総合計画」の重点課題として「次代を築く人づくり」を設定し、これからのまちづくりを進めるにあたっては、生涯にわたる学習活動の促進などにより、本市を支える様々な分野の人材を育成・確保していくことが求められるとしている。そのため、今後さらに、それぞれの個性や能力を最大限に発揮しながら社会に貢献できる人間力の高い「人づくり」を推進し、学校と家庭・地域、企業との連携強化による「家庭・地域の教育力の向上」や、地域資源の一層の活用等による「地域コミュニティの強化」に取り組んでいく必要がある。

こうしたことから、社会性の向上や様々な課題への気づきを促すなど、人間力を高める多様な学習機会の提供や、学びを通して多様な主体と人々をつなぐなど、学んだ成果を活動へつなげていくとともに、地域全体で学び合い育ち合う、地域ぐるみの子どものを育む教育活動に取り組み、第3次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現を図っていく。

2 第3次宇都宮市地域教育推進計画について

生涯学習センターの事業運営については、第3次宇都宮市地域教育推進計画の基本理念を踏まえ、各基本目標の達成にむけた着実な地域教育の推進に取り組んでいく。

【第3次宇都宮市地域教育推進計画】

《基本理念》

「学びを通して、社会の変化に対応できる高い人間力を育むとともに、地域ぐるみの教育活動により一人ひとりが活躍する社会を実現する」

〈基本目標Ⅰ〉

「一人ひとりが自己の実現や生活の向上、地域社会の発展に向けて主体的に学習活動に取り組んでいます」

多様な学習機会や学習情報の提供の充実を図るなど、学習を通して社会性の向上や、様々な課題への気づきを促し、一人ひとりが積極的に学び続け、必要とされる知識や技術を身につけていくことができる学習環境を整えることが重要である。

〈基本目標Ⅱ〉

「地域・学校・家庭が相互に連携・協力し、地域全体で学び合い育ち合う教育活動に取り組んでいます」

家庭教育への支援はもとより、学校を中心とした地域全体で子どもの成長を支える教育活動や、交流を通じて子どもも大人も学び育つ環境づくりに取り組むなど、家庭をはじめ、地域で活動する各主体が連帯感を創出し、地域コミュニティの活性化を図ることが重要である。

〈基本目標Ⅲ〉

「多様な主体や人がつながりを深め、様々な場面で学んだ成果を生かして活動しています」

学んだ人と多様な主体がつながるきっかけ作りや、他者の学習活動を支える人材の育成、郷土愛や地域理解を促進する取組など、学んだ成果を生かして社会参画する「学習と活動の循環」が重要である。

3 生涯学習センターの役割

- ・地域特性や地域住民のニーズなどを踏まえるとともに、個人の要望と社会の要請のバランスに配慮し、NPO・大学・企業や、行政他部局などと積極的に連携した多様な事業の推進
- ・講座等の開催日時 of 工夫や託児の充実、ICTの活用など、幅広い年代の参加を促進する環境の整備
- ・学習者が学んだ成果を活かし、意欲的に様々な活動へと取り組めるよう、地域活動団体と協働・共催での事業の実施
- ・地域住民や多様な団体が交流・活動する場として、施設の活用を促す事業の推進

【参考】社会教育法第20条（公民館の目的）

公民館は、市町村その他一定区域の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

4 生涯学習センター事業運営における重点項目について

生涯学習センターにおいては、第3次宇都宮市地域教育推進計画の理念の実現に向けて、下記項目を重点として取り組んでいく。なお、各重点項目については、指標を基に評価していく。

（1）地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進（⇒基本目標Ⅰ）

- ・各種メディアの効果的な活用など、より多くの市民の学習意欲を高める「学習情報発信力の強化」
- ・「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる講座や身近な「生活課題の解決に資する講座」の開催
- ・少子超高齢化やコロナウイルス感染症など、「社会的課題に対応した講座」の開催

【指標1】生涯学習センターの利用者数（講座参加者数及び貸館利用者数）

基準値（平成28年度）	740,862人	→目標値（令和4年度）	772,528人
令和3年度目標値	767,158人	（令和元年度実績）	779,456人

【指標2】生涯学習センターにおける講座の開催数

基準値（平成28年度）	141講座	→目標値（令和4年度）	150講座
令和3年度目標値	148講座	（令和元年度実績）	129講座

（2）家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進（⇒基本目標Ⅱ）

- ・子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を支援する講座や、「仲間づくり」や「ネットワークづくり」を促す参加交流型講座の開催
- ・土日や平日夜の講座の開催など共働き世代等でも参加しやすい環境づくり
- ・魅力ある学校づくり地域協議会の活動の支援や、地域・企業等と連携した子育て世代や青少年を対象とした講座の開催

【指標1】子育て世代を対象とした参加交流型講座の参加者数

基準値（平成28年度）	7,660人	→目標値（令和4年度）	7,900人
令和3年度目標値	7,860人		

（令和元年度実績 5,219人〔内訳：大人2,492人、子ども2,727人〕）

【指標2】学校、地域、NPO、企業等と連携した講座の参加者数（子育て世代対象、青少年対象）

基準値（平成28年度）	3,410人	→目標値（令和4年度）	3,500人
令和3年度目標値	3,485人	（令和元年度実績）	3,118人

（3）地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実（⇒基本目標Ⅲ）

- ・「地域学講座」など地域に対する理解や愛着を育む講座や、「地域活動団体やボランティア団体等と連携」した学習者が各種団体とつながることができる講座の開催
- ・学習者や活動したい人を「様々な活動へ結びつける学習相談」の推進
- ・幅広い年代の地域住民等が「交流・活動する場」として、施設的环境整備や役割の周知

【指標1】（再）生涯学習センターの利用者数（講座参加者数及び貸館利用者数）

基準値（平成28年度）	740,862人	→目標値（令和4年度）	772,528人
令和3年度目標値	767,158人	（令和元年度実績）	779,456人

【指標2】生涯学習センターにおける学習相談件数（来館、電話）

基準値（平成28年度）	390件	→目標値（令和4年度）	390件
令和3年度目標値	390件	（令和元年度実績）	322件

令和 3 年宇都宮市成人式について

1 趣旨

令和 3 年宇都宮市成人式の概要について報告するもの

2 主催・実施機関

【主催】 宇都宮市・宇都宮市教育委員会

【実施機関】 宇都宮市成人式各中学校区会場実施委員会

3 令和 3 年成人式の実施概要

(1) 日時

令和 3 年 1 月 1 0 日 (日)

① 午前開催

受付	午前 9 時 3 0 分～午前 1 0 時 0 0 分
成人式典	午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 0 時 2 0 分
地域交流事業	午前 1 0 時 2 0 分～

② 午後開催

受付	午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 0 0 分
成人式典	午後 2 時 0 0 分～午後 2 時 2 0 分
地域交流事業	午後 2 時 2 0 分～

(2) 成人式の内容等

感染症対策の徹底（検温，体調チェック，マスクの着用・手指の消毒のお願い，感染リスクが考えられる場所の消毒，緊急連絡先を記入した案内状の回収を行うなど）とともに，式典及び地域交流事業のプログラムを一部変更または中止し，開催時間の短縮を行う。

① 成人式典

【目的】

20 歳を迎えた新成人の門出を，全市をあげて祝い，励ますもの

【内容】

- ・ 開式
- ・ 国歌（斉唱は行わず歌詞入りの CD 音源を流す）
- ・ 宇都宮の歌（斉唱は行わず歌詞入りの CD 音源を流す）
- ・ 激励のことば（市長又は市長メッセージ動画）
- ・ お祝いのことば（市議会議長メッセージ動画）
- ・ 来賓紹介
- ・ 誓いのことば（新成人代表）
- ・ 閉式

② 地域交流事業

【目的】

新成人の「地域社会の一員としての自覚」を促すとともに「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」を育むもの

【内容】

- ・ 地域の方への謝辞
 - ・ 恩師祝辞，恩師花束贈呈
 - ・ 写真撮影 等
- ※ 飛沫感染を予防するため，会場内での飲食を禁止し，持ち帰り用菓子等を提供する。

(3) 会場

25中学校区ごとの会場（ホテル・結婚式場等 9施設25会場）

別紙参照

※ 令和2年4月に会場を決定し公表したが，新型コロナウイルス感染症対策として十分な座席の間隔を確保するため，令和2年10月1日に会場の一部変更を発表している（変更があるのは12中学校区）。

(4) 該当者

平成12年4月2日から平成13年4月1日の間に生まれた，本市住民基本台帳に登載されている者

※ ただし，本市出身者で市外に転出した等，本市の成人式への出席を希望する者も対象とする。

(5) 出席者推計

- ・ 卒業生数（平成27年度中学校卒業生数）
5,015人
- ・ 推定出席者数（各中学校卒業生数×各中学校区の過去3年平均出席率）の累計
4,149人

(6) 来賓

- ・ 市長招待者（国会議員，県議会議員，市議会議員，社会教育委員，**生涯学習センター運営審議会**）
新型コロナウイルス感染症対策のため，令和3年成人式は招待しない。
- ・ 実施委員長招待者
基本恩師のみとする。

※ 生涯学習センター運営審議会委員の皆様には，例年，市長招待来賓として，成人式にご出席をお願いしておりましたが，令和3年成人式は，新型コロナウイルス感染症対策のため，招待を見送らせていただくことにいたしました。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

(7) 運営体制

- ・ 実施委員会
中学校区ごとに実施委員会を組織し，成人式の企画運営を行う。実施委員の構成は，当該中学校区内の新成人及び社会教育関係団体構成員等による（20名程度）
- ・ 事務局
各生涯学習センターが事務局を担う。

令和3年宇都宮市成人式 会場

別紙

中学校区など	卒業生数	推定出席者数	成人式会場	
			午前開催	午後開催
一条中学校区	147	115		護国会館
陽北中学校区 栃木県立のざわ特別支援学校 栃木県立わかくさ特別支援学校	196	167		宇都宮東武ホテルグランデ
旭中学校区	174	133	護国会館	
陽南中学校区	294	243	宇都宮短期大学附属高校 記念講堂	
陽西中学校区 作新学院中等部 宇都宮短期大学附属中学校 文星芸術大学附属中学校 栃木県立盲学校 栃木県立聾学校 宇都宮大学教育学部附属特別支援学校	492	393		宇都宮グランドホテル
星が丘中学校区	265	219	ホテル東日本宇都宮	
陽東中学校区 宇都宮東高等学校附属中学校	400	330	栃木県教育会館	
泉が丘中学校区	227	181		栃木県教育会館
宮の原中学校区	245	198	宇都宮グランドホテル	
清原中学校区 宇都宮海星女子学院中学校	242	191		宇都宮東武ホテルグランデ
横川中学校区	163	148		ホテルニューイタヤ
瑞穂野中学校区	80	63	宇都宮グランドホテル	
豊郷中学校区	222	194	宇都宮東武ホテルグランデ	
国本中学校区	134	112		ホテル東日本宇都宮
城山中学校区	94	75		コンセーレ
晃陽中学校区 栃木県立富屋特別支援学校	72	98	ホテルニューイタヤ	
姿川中学校区	233	186	宇都宮東武ホテルグランデ	
雀宮中学校区	196	168	ホテルニューイタヤ	
鬼怒中学校区	203	167	ホテルマイステイズ宇都宮	
宝木中学校区 宇都宮大学教育学部附属中学校	268	215		ホテル東日本宇都宮
若松原中学校区	245	198		宇都宮短期大学附属高校 記念講堂
上河内中学校区	88	78	ホテルマイステイズ宇都宮	
古里中学校区	124	101	ホテル東日本宇都宮	
田原中学校区	93	78		ホテル東日本宇都宮
河内中学校区 栃木県立岡本特別支援学校	118	98	ホテル東日本宇都宮	
合計	5015	4149		

開催日	令和3年1月10日（日曜日）	
開催時間	午前開催	午後開催
受付	午前9時30分～10時	午後1時30分～2時
式典等	午前10時～	午後2時～

地域かがやきプロジェクトについて

1 事業の目的

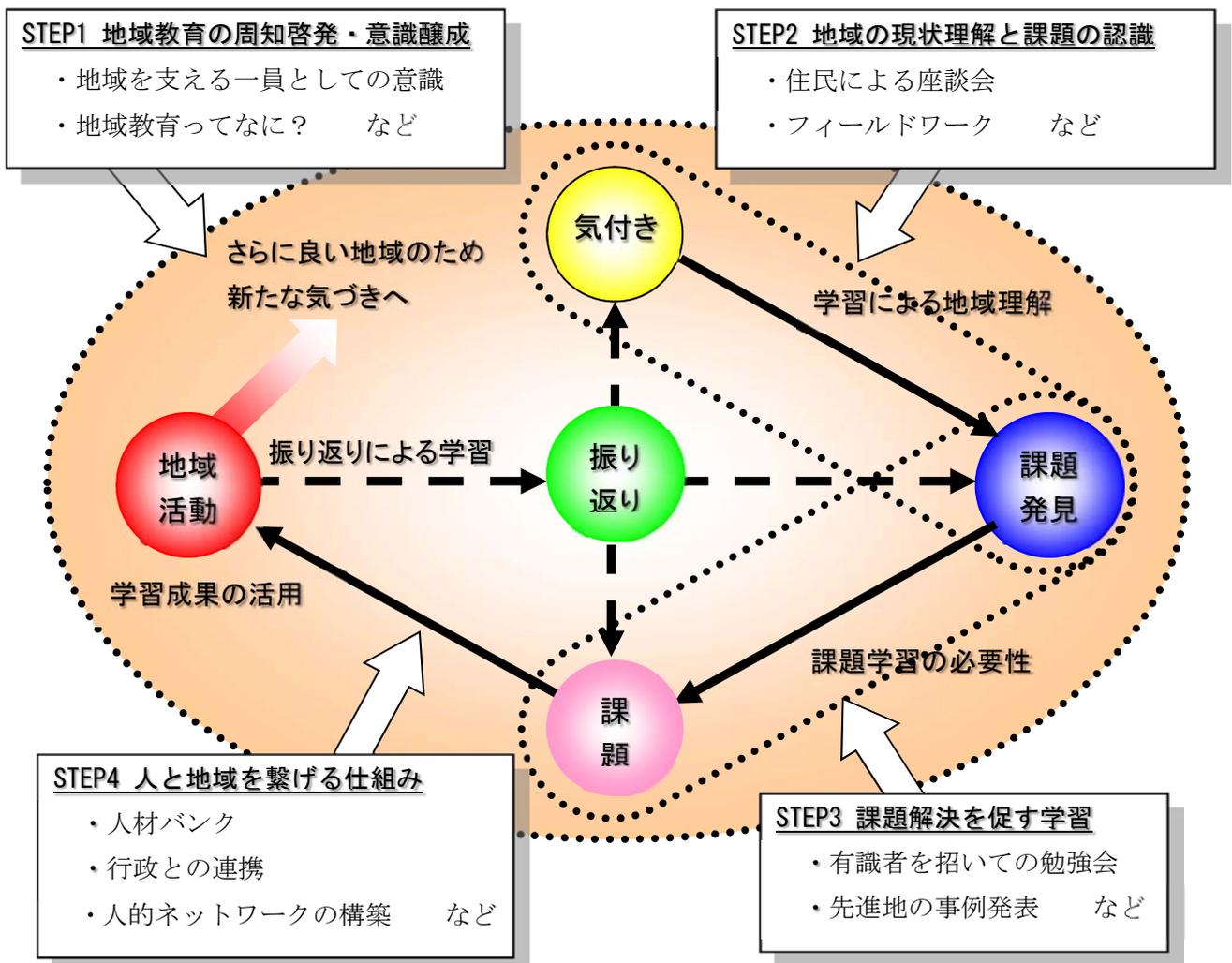
地域の教育力向上や地域の主体的なまちづくり活動などについて、地域住民が改めて考え、取り組みのきっかけや課題の解決になるような機会を創出する。

2 CKPの目指す姿

現在、各生涯学習センターや人材かがやきセンターを拠点として人材育成の強化や地域教育活動の促進を図り、「地域で学び、学んだひとが地域をつくる」地域教育の推進に取り組んでいる。

さらに効果的に地域教育を推進していくため、地域の現状の理解から始まり、課題の認識と共有、課題解決を促す学習、学習した人と地域を繋ぐ仕組み、さらには活動者からの新たな課題の提供へ繋げる、「活動」と「学習」の循環（下図）に取り組んでいる。

【図】 活動と学習の循環（CKPサイクル）



3 CKP事業 (参考 **別紙**CKP事業一覧)

地域課題の解決 (地域が主体)	社会の要請に対応	第3次計画の新規事業等 に対応 (下線は重点事業)
<ul style="list-style-type: none"> ・各センターを通じた地域発意の講座 ・地域課題に対応した講座(防災, 健康づくり等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・『平成26年10月社会教育委員の会議によって提言された「社会の要請」と求められる学習について』における, 早急に対応すべき課題を解決するための講座 ①超高齢社会 ②子育て・子育て環境の変容 ③格差社会, 勤労観の変容 ④規範意識・社会性の低下 ⑤地域コミュニティの変容 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次宇都宮市地域教育推進計画における, 新規事業に対応した講座 ①ICTに対応した学習の推進 ②健康づくりを支援する取組の充実 ③NPO・大学・企業等と連携した学習の推進 ④学び直しの支援 ⑤外国人住民に向けた地域理解促進
<p><例> 「東地区災害から身を守る講習会」 (R1 中央) 「地域学講座～富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座～」 (R1 富屋)</p>	<p><例> 「夏休みチャレンジ教室」 (R1 国本)</p>	

4 事業推進にあたっての留意事項

- (1) より地域の課題に即した事業とするため, テーマの設定, 開催場所などについて, 地域(まち協(所属団体を含む), 自治会等)との連携を図りながら実施する。
- (2) CKPサイクル実現のために, 継続的な事業計画が必要であるが, 前年度と学習内容が重複しないよう学習内容の深度を深めるなどの工夫を図る。

令和元年度「地域かがやきプロジェクト」の実施状況について

別紙

No.	センター名	事業名	実施日 実施回数	事業の概要	社会の要請(課題)					講師	受講者数	備考
					超高齢社会	子育て・子育て	勤労親の社会	社会性の低下	地域コミュニティ			
1	中央	西地域 歴史講座	11月17日	地域内に魅力的な資源が多くあることから、地域資源を掘り起こすため、地域の歴史について学びながら、西地域の良さを知る。					○	栃木くらし文化研究所代表 柏村 祐司	33	西地域コミュニティセンターで実施
2	中央	宮の原地区いきいきセミナー	5月15日 6月19日 6月19日	新元号をきっかけに、宇都宮市と皇室との関わりを知ることにより、地域への誇りと親近感を持つ					○	栃木県立博物館 学芸員 大越 惟弘	①57 ②48 ③43	
3	中央	東地区災害から身を守る講習会	9月20日	災害から身を守る講習会は、家族や地域の人たちと助け合いの大切さ、また自分や家族の身を守り、避難する備えやハザードマップの見方と自分の地域の状況、警戒レベル・避難情報を理解し安全な避難場所の確認など、自ら身を守る備えを学ぶ。					○	宇都宮市政研究センター 坪井 聖太郎	110	
4	東	ようとう郷土史講座	11月～1月 (全4回)	身近な生活の中にある歴史をたどることにより、郷土のよさを再認識し、まちづくりに対する人々の関心を高める。					○	①国土交通省関東地方整備局下館工事事務所職員 ②宇都宮市教育委員会文化課主幹 今平利幸 ③強度歴史研究家 菊池芳夫 ④宇都宮伝統文化連絡協議会理事 池田貞夫	①16人 ②17人 ③18人 ④15人	陽東地域コミュニティセンター
5	北	親子ちいき探検隊	①7月6日 ②7月13日	地域ビジョンの策定気運の醸成に向け、戸祭地区において、住民を対象とした地域学講座を開催し、フィールドワークやワークショップ、座学を通して住民の地域理解の促進や、ビジョン策定等の地域まちづくり活動に資する人材を育成する。					○	栃木くらし文化研究所 柏村祐司	①21 ②23	
6	横川	まるごと横川	①12月23日 ②1月25日 ③2月13日	地域学講座として地元横川の魅力をそれぞれが再発見することなどを通して、地域ビジョン推進に伴う今後のまちづくりに対する意識の醸成を図る。	○	○			○	①NPO法人栃木消防士会 理事長 稲葉茂 ②一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事 広瀬隆人 ③Act YAKO代表 鶴飼雅子	①35 ②52 ③26	横川生涯学習センター
7	国本	夏休みチャレンジ教室	①8月20日 ②8月21日	地域内大学との関係を図り、小学生の夏休みの宿題に役立つ絵画などをグループで学ぶことにより、絵を描くことの楽しさやポイントなどを学びながら、他学年・他校の児童との交流を深めるなど、仲間づくりの場を提供する。					○	文星芸術大学 萩原正貴 柴田 彩都	①17 ②17	
8	富屋	地域学講座～富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座～	6月～7月 (全5回)	地域住民が、専門家の講義などを通して自分の住む「富屋」の豊かな自然や多くの歴史遺産について理解し、地域課題に気づくとともに、その解決法について考える契機とする。また、地域自然と歴史を後世に伝え、地域の魅力を発信するために、これらの内容について精通したガイドを養成する。					○	宇都宮市文化財調査員 池田貞夫	①24 ②19 ③19 ④24 ⑤28	
9	富屋	考える力アップ講座	①7月10日 ②9月11日	新しい面白さを発見できる実験やものづくりを通して子どもたちが自ら考え、身の回りにあふれる科学に対する好奇心を高める。						NPO法人論語普及会会員 伊藤昭博	①19 ②34	

No.	センター名	事業名	実施日 実施回数	事業の概要	社会の要請(課題)					講師	受講者数	備考
					超高齢社会	子育て・子育て	勤労観の 変容	格差社会	社会性の低下			
10	豊郷	とよさと元気塾	①5月21日 ②6月18日 ③7月9日 ④9月10日 ⑤10月29日 ⑥11月19日	情報化、国際化、少子・高齢化など、超高齢者を取り巻く生活環境は常に変化している。そのような中で、心豊かに過ごせるよう、仲間づくり、生きがいづくりを支援するとともに、地域社会を支える人づくりを目指す。	○					①宇都宮伝統文化連絡協議会顧問 池田貞夫 ②保健師 石川瑠璃 運動指導士 松本美佳子 ③宇都宮落語研究会 かみや紅 ④豊郷生涯学習センター職員 ⑤生活安心課防犯指導員消費生活相談員 菊池正英 齋藤広子 ⑥音楽療法士 以登田晴美 ピアニスト 中村陽子	①79 ②74 ③77 ④37 ⑤58 ⑥62	富屋生涯学習センターで実施
11	豊郷	地域まちづくり講座 地域ビジョン推進フォーラム2020 ～みんなで創ろう豊郷の明日～	2月1日	平成31年3月に策定した地域づくりの指針である地域ビジョンの内容について、地域で共通理解を図りどう推進していくかを考える。					○	日本経済学会会長 山川允夫	62	
12	豊郷	防災力UP講座	10月6日	「防災に対する基礎知識の習得」や「未来を守る防災」をテーマにして、地域全体に自律と連携を育み、地域における協働の防災まちづくりへとつながる事業を展開する。					○	危機管理課 河川課	50	
13	豊郷	まほろば探検塾	6月～11月 (全5回)	地域の歴史や文化を学ぶことにより、地域の持つ魅力や課題に気づき、それを活かした地域の活動や課題解決につなげるとともに、学びを通じた仲間づくりを目指す。					○	①宇都宮伝統文化連絡協議会顧問 池田貞夫 ②③強度歴史研究科NHK文化センター講師 小林暁雲 ④鹿沼市観光ボランティア 鹿の会ボランティアガイド ⑤映画監督 安孫子亘 元城山西小校長 手塚英男	①34 ②33 ③29 ④22 ⑤87	
14	篠井	地域力アップ教室	9月～2月 (全4回)	地域をより一層成長させるために、地域を確認し、地区内にある資源・文化伝統等を新発見し、地域ビジョンへと繋げる。					○	①篠井地区女性起業家5名 ②栃木県農政課農業推進戦略室職員 ③ミルフィルム映画監督 安孫子亘 ④教育企画課職員	①24 ②11 ③59 ④10	
15	姿川	姿川歴史教室	11月17日	「遺跡や文化財マップ」を盛り込んだ「姿川さんぽ」を活用し、当地区市民センターで「歴史教室」を開催することにより、地域の文化活動をPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。						歴史と文化の会顧問 柏村祐司 梁木 誠	26	
16	雀宮	I LOVE 雀宮講座	7月2日 (全2回)	「NCC形成」や「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、自分の住む地域の課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、雀宮地区内の一般成人や雀宮地区で学ぶ高校生に、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。					○	①NPO法人雀宮まちづくりプロジェクト 稲葉豊 橘晴征 ②宇都宮市文化祭保護審議委員会 大嶽浩良	①26 ②49	
17	河内	地域防災の強化	2月2日	災害時における高齢者や子どもなどの弱者への対策など、地域における住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動の強化を図る術を学ぶ。	○				○	環境・防災コンサルタント 秦好子	200	

平成30年度「地域かがやきプロジェクト」の実施状況について

No.	センター名	事業名	実施日 実施回数	事業の概要	社会の要請(課題)					講師	受講者数	備考	
					超 高 齢 社 会	子 育 て ・ 子 育 ち	勤 労 観 差 社 会 容	規 範 意 識 ・ 社 会 性 の 低 下	地 域 コ ミュ ニ テ ィ の 変 容				
1	中央	西地域 歴史講座	10月27日	地域内に魅力的な資源が多くあることから、地域資源を掘り起こすため、地域の歴史について学びながら、西地域の良さを知る。						○	栃木くらし文化研究所代表 柏村 祐司	22	西地域コミュニティセンターで実施
2	東	宇都宮の歴史をたどる	11月～2月(全4回)	・昨年度実施した「宇都宮・陽東今昔」の続編で、今年度は宇都宮全体に目を向けた内容で開催 ・宇都宮の歴史をひも解き、先人の足跡に耳を傾ける内容						○	①②宇都宮市教育委員会事務局文化課係長 君島直人 ③宇都宮市文化財保護審議会委員 大嶽 浩良 ④郷土史家 菊池 芳夫	①15人 ②17人 ③16人 ④22人	陽東地区まちづくり協議会と連携
3	西	共感で広げよう！継続する活動のススメ方	3月6日	地域活動の様々な取り組みに際して、活動継続発展のための資金・人材・場所の確保について、具体的な話を聞きそれらの求心力となる「共感」を高めていく。						○	NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク代表理事 岩井 俊宗	24	明保地区明るいまちづくり協議会と連携
4	西	危機管理について考える～地域防災マップを作成するための知識を高める～	2月23日	地域の実情に沿った講座を地域コミュニティセンターで開催することで、地域住民が地域活動に関心を持つきっかけづくりとするため西生涯学習センターと富士見地域の共催で開催する						○	行政経営部 危機管理課係長 高瀬 誠二	39	富士見まちづくり協議会と連携
5	西	「主婦」の誕生と女子教育、家庭・学校・社会の期待と現実	2月23日	桜地域の歴史を振り返るため、市内屈指の文教地区である桜地域の高等学校の設立の経過を知り、併せて女性に対する社会的な期待と女子教育の変遷を学び、これからの女性活躍の社会について考える。						○	宇都宮共和大学客員教授 鈴木 健一	48	桜地区青少年育成会、桜地域まちづくり協議会と連携
6	北	戸祭地域学講座	①6月30日 ②7月7日 ③3月16日	地域ビジョンの策定気運の醸成に向け、戸祭地区において、住民を対象とした地域学講座を開催し、フィールドワークやワークショップ、座学を通して住民の地域理解の促進や、ビジョン策定等の地域まちづくり活動に資する人材を育成する。						○	①②栃木くらし文化研究所 所長 柏村 勇二 ③ふる里再発見探訪の会 代表 川村 泰一	①12人 ②12人 ③30人	戸祭地区まちづくり協議会と連携

No.	センター名	事業名	実施日 実施回数	事業の概要	社会の要請(課題)					講師	受講者数	備考	
					超 高 齢 社 会	子 育 て ・ 子 育 ち	勤 労 観 の 変 容	格 差 社 会	規 範 意 識 ・ 社 会 性 の 低 下				地 域 コ ミュ ニ テ ィ の 変 容
7	横川	まるごと横川	①11月21日 ②12月26日 ③1月16日	地域学講座として地元横川の魅力を紹介しながら、地域に対する理解や愛着を深めることを継続し、地域づくりに対する意識の醸成及び地域課題発見等に繋げていく。(今回は防災関係)						○	作新大学客員教授・防災士 稲葉 茂	①17人 ②24人 ③20人	協力 横川地区まちづくり協議会・横川地区地域ビジョン策定委員会
8	国本	高齢者安心生活講座	12月11日	高齢者が安心して生活できるよう、国本地区づくり振興会と連携し、さまざまな生活課題解決に資する講座を開催する。	○						NPO法人シニア大衆講師 山神 克允	23人	国本地区づくり振興会と連携
9	国本	地域の歴史・文化再発見講座「祈りと豆田川沿いの文化財」を訪ねる	①5月12日 ②5月19日 ③5月26日	地域の人材を講師とした地域ならではの歴史・文化資源についての講座を開催することで、地域の方々に改めて地域の良さを見直してもらい、郷土愛を醸成するとともに、地域の歴史・文化の伝承に向けた人材の育成を図る						○	宇都宮市文化財調査員 川村 泰一	①24人 ②30人 ③30人	国本地区づくり振興会と連携
10	国本	夏休みチャレンジ教室	①8月20日 ②8月21日	地域の大学と連携を図り、小学生の夏休みの課題に役立つ絵画や工作などをグループで学ぶことにより、他学年・他校の児童と交流し、仲間づくりの場とする。		○					文星芸術大学 大金 葉月 ほか1名	①25人 ②25人	文星芸術大学と連携
11	富屋	平成30年度「地域学講座」～富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座～	6月～7月(全5回)	地域住民が、専門家の講義などを通して、自分の住む「富屋」の豊かな自然や多くの歴史遺産について理解し、地域の課題に気づくとともに、その解決方法について考える契機とする。 また、地域の自然と歴史遺産を後世に伝え、地域の魅力を発信するために、これらの内容について精通したガイドを養成する。						○	宇都宮市文化財調査員 池田 貞夫	①21人 ②20人 ③18人 ④21人 ⑤22人	富屋地区まちづくり連絡協議会 文化活動部会(共催)
12	豊郷	イクメン応援講座	5月27日 6月17日	・父親に育児参加を促し、父母共通した子育ての知識や技術を身につけるとともに、母親がリフレッシュし心の安定を図れる機会を提供する。 ・市内在住で1～3歳の子どもと両親を対象に実施。		○					①運動指導員・ヨガインストラクター 塩澤亜耶・長嶋浩子 ②ヨガインストラクター・運動指導員 長嶋浩子・本田純子	①18人 ②28人	

No.	センター名	事業名	実施日 実施回数	事業の概要	社会の要請(課題)					講師	受講者数	備考
					超 高 齢 社 会	子 育 て ・ 子 育 ち	勤 労 観 の 変 容	格 差 社 会	規 範 意 識 ・ 社 会 性 の 低 下			
13	豊郷	とよさと元気塾	5～11月(全6回)	<p>情報化・国際化・少子高齢化と社会環境の変化の加速が増している中で、高齢者が変化に適応し、心豊かに生活できるよう、生活に役に立つための知識や技能を身につけるとともに、健康づくり生きがいがづくりを支援する。また、定年後の生活を地域で送るためのコミュニケーション法を学ぶとともに交流する機会を提供する。</p>	○					<p>①野村證券証券学習開発課長 田中 政広 ②保健師運動指導員 石川 瑠梨・入江 やよい ③④元宇都宮市立鬼怒中学校長 池田 茂 ⑤消費生活指導員 青柳 清子 ⑥音楽療法士・ピアニスト 以登田 晴美・中村 陽子</p>	<p>①75人 ②71人 ③74人 ④55人 ⑤65人 ⑥67人</p>	
14	姿川	姿川地区歴史講演会	9月9日	<p>・姿川地区歴史展の記念講演会として、「享保12年作成絵図から見た鶴田村の民家について」という題名で、江戸時代の姿川地区周辺の住民の生活がどのようなものであったかを知ることにより、自分たちの住む地域への愛着心や誇りをさらに高めていく。また、現在に至るまでの変遷について思い返すことで、さらにはこの地域の将来について一人一人に意識を持ってもらうことにより、これからのまちづくりの推進に繋げていく。</p>					○	<p>栃木県立博物館名誉学芸員 柏村祐司氏</p>	27人	<p>共催 姿川地区まちづくり協議会(歴史・文化部会) 協力 姿川地区歴史と文化の会</p>
15	雀宮	I LOVE雀宮講座	2月6日(全2回)	<p>「NCC形成」や「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、自分の住む地域の課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、雀宮地区内の一般成人や雀宮地区で学ぶ高校生に、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。</p>					○	<p>文化課主幹・文化財活用推進担当 今平利幸</p>	<p>①22人 ②40人</p>	<p>まちづくり推進協議会と連携</p>

平成29年度「地域かがやきプロジェクト」の実施状況について

No.	センター名	事業名	実施日 実施回数	事業の概要	社会の要請(課題)					講師	受講者数	備考	
					超 高 齢 社 会	子 育 て ・ 子 育 ち	勤 労 観 の 変 容	格 差 社 会	社 会 性 の 低 下				規 範 意 識 ・ テ ィ の 変 容
1	中央	宮の原地域歴史探訪講座	①5月17日 ②6月21日	地域の歴史について、明治維新から現代まで改めて時系列で知ることにより、地域への愛着や誇りを高め、地域の歴史を継続的に見る学ぶことで、地域の良さを感じてもらう。						○	宇都宮市文化財保護審議会委員 大嶽 浩良	①70人 ②56人	・宮の原コミュニティセンターで実施
2	中央	(築瀬)みんなでわいわい話そうよ!	①5月31日 ②9月30日	築瀬地域のいいところや課題について楽しく語り合うことで、地域の魅力の再認識や地域をより良くするために必要なことを共有してもらう。						○	①栃木県職員 大森 豊 ②宇都宮大学職員 土崎 郁祐	①30人 ②26人	・築瀬コミュニティセンターで実施
3	東	宇都宮・陽東今昔	6月～12月 (全7回)	宇都宮・陽東の歴史をひも解くために先人の足跡に耳を傾けて、今後の地域のあり方を考える。						○	①～③宇都宮市教育委員会文化課職員 ④、⑤宇都宮市文化財保護審議会委員 大嶽 浩良 ⑦宇都宮市市街地整備課、LRT整備室職員	①30人 ②29人 ③23人 ④29人 ⑤31人 ⑥33人 ⑦38人	・陽東地区まちづくり協議会と連携
4	西	桜地域学講座 近代宇都宮のまちづくり	2月24日	地域の歴史を学習し、地域への理解を深めることにより、地域教育や青少年健全育成につながる意識醸成を図り、より住みやすいまちづくりの推進を目的として開催する。						○	宇都宮共和大学 客員教授 鈴木 健一	50人	・桜地区まちづくり協議会、桜地区青少年育成会と連携
5	西	NPO理解促進講座	12月6日	羽黒台自治会が取り組む空き家対策事業に有益な、NPO活動に関する知識と理解を深め、今後のコミュニティ活動活性化に繋げる。						○	特定非営利活動法人ルヴァン 代表 大島 淳子	8人	・宇都宮市まちづくりセンター、羽黒台自治会と連携
6	西	地域コミュニティの促進	2月25日	地域のニーズに沿った課題の解決と地域住民のコミュニティの関わり強化						○	共和大学 学部長 山島 哲夫	39人	・富士見まちづくり協議会と連携
7	北	戸祭地区地域学講座	①8月5日 ②8月26日 ③11月18日	戸祭地区地域ビジョンの策定に向けた意識の醸成を図るため、戸祭地区において住民を対象とした地域学講座を開催し、フィールドワークやワークショップを通して住民の地域理解の促進やビジョン策定等の地域まちづくり活動に資する人材を育成する。						○	①、②宇都宮大学特任助教 桑島 栄理佳 とちぎ協働研究協力員 井上 俊邦 ③栃木くらし文化研究所 所長 柏村 祐司	①29人 ②26人 ③21人	・戸祭地区まちづくり協議会と連携
8	国本	高齢者の健康講座	12月12日	平成26年度に策定された「国本地域ビジョン」の実現に向け、地域課題解決のための講座をワンテーマ3年計画で開催する。平成27～29年度は、喫緊の課題である「高齢者の健康増進」と「防犯・防災」をテーマとした講座を開催することで、健康と防犯・防災に対する意識高揚を図り、高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくりを目指す。						○	ユーモア話術講師 若林 一声	76人	・国本地区づくり振興会と連携

No.	センター名	事業名	実施日 実施回数	事業の概要	社会の要請(課題)					講師	受講者数	備考			
					超 高 齢 社 会	子 育 て ・ 子 育 ち	勤 労 親 の 変 容	格 差 社 会	社 会 性 の 低 下				規 範 意 識 ・ テ ィ の 変 容	地 域 コ ミュ ニ テ ィ の 変 容	
9	国本	人車鉄道の歴史を探る	①7月29日 ②8月5日 ③8月19日	地域の資源である「人車鉄道」について、地域の人材が講師となり、との歴史や国本の近代産業について学んでもらうことにより、郷土愛を醸成する。						○	宇都宮市文化財調査員 川村 泰一 ほか1名	①28人 ②21人 ③13人	・国本地区づくり振興会と連携		
10	国本	夏休みチャレンジ教室	①8月17日 ②8月18日	地域内の大学と連携を図り、小学生の夏休みの宿題に役立つ会議や工作などをグループで学ぶことにより、他学年、他校の児童と交流し、仲間づくりの場とする。							文星芸術大学 大金 美月 本間 希望	①23人 ②23人	・文星芸術大学と連携		
11	富屋	とみや地域学	6月～7月 (全5回)	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して、自分の住む地域の特徴を理解し、地域の魅力や課題に気づくとともに、中長期的な地域のあるべき姿を考える契機とする。また、これらを後世に伝え、地域の魅力を発信し、解説できる人材を育成する。							○	宇都宮市文化財調査員 池田 貞夫	①19人 ②18人 ③14人 ④18人 ⑤19人	・富屋地区まちづくり連絡協議 会文化活動部会と連携	
12	豊郷	イクメン応援講座	①9月24日 ②10月22日	父親の育児参加を促し、父母共通した子育ての知識や技術を身につけるとともに、母親がリフレッシュし心の安定を図る機会を提供する。							○	①リトミック指導員 山田 紀子 アロマセラピー 本田 直子 ②エアロビクス指導員 鈴木 美恵子 運動指導員 本田 純子	①31人 ②27人		
13	豊郷	とよさと元気塾	5月～11月 (全6回)	情報化、国際化、少子・超高齢化と社会環境の変化の加速度的に増加している中で、高齢者が変化に適応し、心豊かに生活できるよう、生活に役立つための知識や技術を身につけるとともに、健康づくりや生きがいづくりを支援する。							○	○	①桃源養生工房 弭 雪 梅 ②保健師 中山 野花子 運動指導士 桑川 久子 ③宇都宮市地方気象台職 員 勝田 豊 ④うつのみやシティガイド 協会 藤本 由利子ほか3名 ⑤交通安全教育指導員 金田 真由美 防犯活動協会 五月女 勝 ⑥音楽家 鈴木 基司	①82人 ②74人 ③68人 ④55人 ⑤54人 ⑥62人	

No.	センター名	事業名	実施日 実施回数	事業の概要	社会の要請(課題)					講師	受講者数	備考	
					超 高 齢 社 会	子 育 て ・ 子 育 ち	勤 労 親 の 変 容	格 差 社 会	社 会 性 の 低 下				規 範 意 識 ・ テ ィ の 変 容
14	豊郷	地域ビジョン策定委員会講演会	2月13日	豊郷生涯学習センターと豊郷地区地域ビジョン策定委員会の共催事業として、国及び地域の経済や施策、また豊郷地区を考える統計データについての講演会を開催することにより、来年度の地域ビジョン策定の際に参考となる基礎的学力を習得する。						○	帝京大学経済学部地域経済学科長・教授 山川 充夫	22人	・豊郷地区地域ビジョン策定委員、豊かな郷づくり推進協議会関係者と連携
15	姿川	姿川歴史講演会	2月24日	田畑や近隣にある石碑や野仏、道祖神などは、その地区の歴史・民俗を知る上で貴重な文化財である。姿川地区は近年、住宅開発が進み、石碑・野仏等は消滅の危機にあることから、姿川地区まちづくり協議会(歴史・文化部)では、平成28年度から「石碑・野仏調査」を実施している。民族学者である柏村祐司先生に調査結果を踏まえた上で「姿川地区の歴史」について講演していただくことにより、地域住民が自分たちの住む姿川地区への誇りや愛着心を高めることで、それを後世に引き継いでいく機運を醸成し、将来に向けた姿川地区のまちづくりの推進に繋げていく。						○	栃木県立博物館 名誉学芸員 柏村 祐司	75人	・姿川地区まちづくり協議会と連携
16	雀宮	ちゅんちゅんママパパにこにこ学級	①9月7日 ②10月1日	親子のフィットネスや子どもの撮影技術等の学びを通じ、親子のスキンシップを楽しみながら、家庭教育向上を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる地域の仲間との交流を図る。		○					①フィットネスインストラクター 石川 典子 ②サトーカメラカメラマン 福田 沙代子 アロマセラピスト 本田 直子	①16人 ②27人	
17①	雀宮	雀宮地域学講座	①2月22日 ②2月24日	「NCC形成」や「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、自分の住む地域の課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、地域に対する理解や愛情を深め、まちづくりに対する意識醸成を図る。						○	①NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク代表 岩井 俊宗 ②宇都宮市文化財保護審義委員会 大嶽 浩良	①32人 ②96人	・雀宮地区まちづくり推進協議会
18	上河内	まちづくり勉強会	10月24日	高齢化が進む中交流人口の増加、若者の定住化を促し、地区を活性化させる必要がある。各地域で活躍し、成果を上げている団体から新たな視点で地域を見直し、地域を活性化していく術を学ぶ。						○	NPO法人古賀志山を守る う会理事長 池田 正夫	30人	・上河内地区まちづくり協議会、 上河内地区連合自治会

平成31年度

とみや地域学



『富屋の自然・歴史・文化財ガイド養成講座』

豊かな自然



富屋地区は三方を山に囲まれ、その中央を清流田川が流れるなど豊かな自然に恵まれ、また奈良時代創建の智賀都神社や南北朝時代開山の伝法寺、江戸時代の日光道中の宿場跡が残るなど、多くの歴史遺産が残っています。

この講座で、あなたも富屋の魅力を楽しく学び、ガイドとして多くの人に伝えてみませんか？

主催：富屋生涯学習センター

共催：富屋地区まちづくり連絡協議会文化活動部会

対象：富屋の自然・歴史・文化財に興味のある方

定員：25名程度

講師：宇都宮市文化財調査員 池田貞夫氏

締切：5月31日(金)

連絡先：富屋生涯学習センター 電話 665-1663

多くの歴史遺産



第1回(学習室)

6月6日(木) 18:30
富屋の歴史(現代)
昭和時代(戦後)から平成時代

第2回(学習室)

6月13日(木) 18:30
富屋の史跡と文化財
歴史遺産・指定文化財など

第3回(現地)

6月22日(土) 9:00
富屋地区及び関連する地域(国本地区)の史跡探訪

第4回(集会室)

7月4日(木) 18:30
富屋の民俗
社寺の祭礼や信仰・年中行事

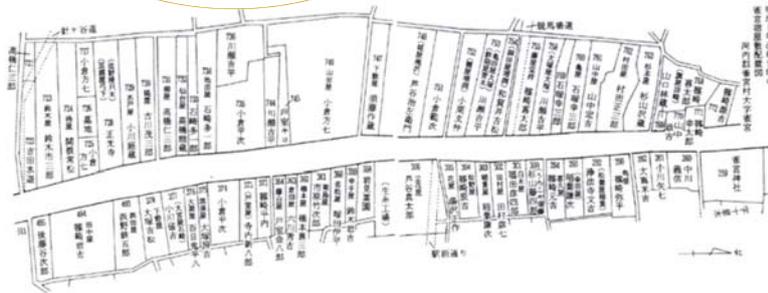
第5回(集会室)

7月11日(木) 18:30
富屋の人物

参加者募集中！

雀宮宿の歴史

今年度の「I ♥ Love 雀宮講座」は、見学編として、江戸時代より現存する歴史的文化遺産「仮本陣芦谷家」など、「雀宮宿」周辺の史跡等を見学いたします！ また、講演会編として、「雀宮宿の歴史」について、江戸時代の雀宮宿のお話を伺います！



明治9年当時の雀宮宿屋敷配置図



仮本陣芦谷家

※ 当日は、「見学編」と「講演会編」の2部構成になります！

開催日時 令和元年 7 月 5 日 (金)

第1部 見学編 午前9時30分～午前11時30分 (要申込)

第2部 講演会編 午後1時30分～午後3時30分 (要申込)

	第1部	第2部
集合場所	雀宮地区市民センターロビー	雀宮地区市民センター 1階ホール
内容	雀宮宿周辺の現地めぐり(雨天決行) 仮本陣芦谷家など雀宮宿周辺を散策	講演会 (仮題) 雀宮宿の歴史
定員	事前申込 先着25名	事前申込 先着50名 *当日も空きがあれば参加可能です。
講師	特定非営利活動法人 雀宮まちづくりプロジェクト担当者	宇都宮市文化財保護審議委員会委員 大嶽 浩良氏
参加費	無 料	
申込	「希望の講座(第1・2部), お名前, 住所, 電話番号, 年齢」を直接, 又は電話で雀宮地区市民センターまでお知らせください。 *申込受付後, 開催通知の発送いたしませんので, 当日時間までに集合場所までお越しください。	
募集期限	7月4日(木)まで(定員になり次第, 締め切ります。)	
お問合せ	雀宮地区市民センター TEL 654-1013 Fax 653-5646	

④ 仮本陣芦谷家



宿場には、一般的に本陣と脇本陣を置いたが雀宮宿には仮本陣も置いた。仮本陣芦谷家は、歴代治左衛門を襲名し、明主で問屋・旅館・農業を営んでいた。現在の建物は嘉永元(1848)年の再建で、雀宮地区で一番古い江戸時代の貴重な建物である。明治14年には明治天皇が上段の間で御休憩された。



⑤ 福寿地藏尊



福寿地藏尊は、宝暦10(1760)年に建立。その当時は打ち続く凶作と疫病の流行によって多くの人が亡くなり、窮乏の苦境から逃れる切実な願いを込めて祀られた。



⑥ 御大典記念碑



古書 大宇雀宮 小倉方七方蔵
のきは
軒端より すたく雀のすすろなる
ともさえここに なるるあは
れさ
すだ すずろ
《軒端より集く 漫なる
どもさえ個々になるる哀れさ》
軒端の近くに雀が集まって心のおもむくままに鳴いているけれども、一匹一匹の命の限界は超えられない(哀れが宇宙を支えている)
雀宮宿町会 記

I ♥ 雀宮 講座「見学編」

～ 雀宮宿を歩く ～



日時 令和元年7月6日(金)
午前9時30分～

主催

雀宮地区まちづくり推進協議会
雀宮生涯学習センター

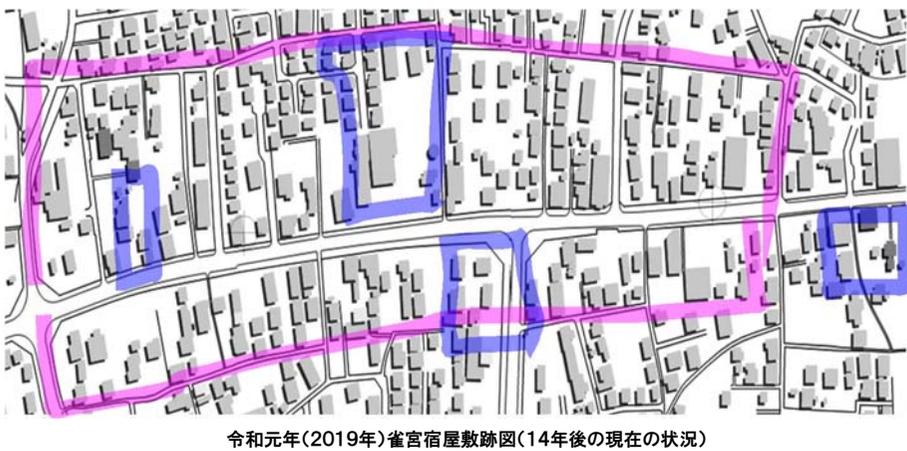
協力

特定非営利活動法人まちづくりプロジェクト

雀宮宿

雀宮宿は、日光街道の開設によって元和年間(1620頃)に江戸時代から16番目の宿場として指定され、東の奥州街道沿いにあった古屋敷と言われた所から、雀宮明神と共に現在地に移り宿場を形成した。

このため、宿には明主・年寄・組頭・百姓代等の宿役人を置き、宿の中央部には本陣・脇本陣・仮本陣・問屋場・旅籠屋等が配置され、宿の自治、年貢の収納等も当然行っていたが、現在も芦谷家仮本陣が往時の面影を残している。



天保14年(1843年)のデータ
 宿の長さ 5長20間(約580m)
 家数 72軒 本陣1軒、脇本陣1軒、問屋場2軒、旅籠38軒、人口268人
 (幕府が編纂した「宿村大概帳」による)

① あらだて地蔵尊



あらだて地蔵尊は、安政6(1859)年雀宮宿の有力者5人が寄進したもので、宿に他国(越後・出羽・下野各地)から働きに来た下男・下女や旅人たちのお墓で、今も大切に祭祀している。



② 大通山地福院正光寺



正光寺は、石田感応寺の末寺で天台宗に属し、御本尊は2尺5寸の阿弥陀如来である。開基は正徳5(1715)年と伝えられ、現在の伽藍は昭和44年地元檀家・篤志家による再建である。
 この正光寺には、享保元年(1811年)から幕末にかけて寺子屋が開かれ、その後も、「日新舎」と称した塾が開かれた。明治6年(1886年)には現在の雀宮中央小学校の所に「河内郡第三番学区公立雀宮小学校」を新設した。



③ 本陣小倉家跡



本陣小倉家は、平成11年までは江戸時代の表門を残していたが残念ながら解体移築された。先祖は、阿波守 守信と称し、天正年間(1573年)宇都宮家に仕え、真岡城主にもなったが、宇都宮家の没落により雀宮に土着し、代々明主・本陣を勤めた。当時は、1263坪の宅地に、115坪の母屋を建て、18室の客間と上段の間を備えていた。この本陣には、幕府役人、大商人、文人墨客とか信用状のあるものが宿泊した。